NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を学習に生かす実践Ⅱ

2．学校名

北海道旭川市立大有小学校

3．実践者名（代表者名）

駒澤和康

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　23人

6．単元（本時の学習課題）名

「住みよい暮らしと環境　自然を生かしたくらし」

7．目標（狙い）

○暖かい土地と寒い土地の自然条件の違いとくらしや産業などの違いのかかわりについて考えることができる。

8．評価の視点

資料を活用し、各地域で生活する人々が特色ある気候や自然環境を生かして生活や文化、産業を発展させ、その営みを継続していることを理解し、まとめることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「住みよいくらしと環境　自然を生かしたくらし」（教科書教材：教育出版）11時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①沖縄と北海道の地方紙と比べ、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。
②気候や自然条件の違いと人々の生活や文化、産業の関連について調べる。
③調べたことを工夫してまとめ、発表し合う。

（留意点）
・暖かい地域に興味・関心を持つことができるように、新聞記事を提示し事象との出会いを工夫する。
・地域の特色に気付かせるため、新聞記事の見出しに注目するよう助言する。
・気付いたことを類型化し、調べる視点を明らかにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

単元の1時間目に沖縄の新聞記事を提示したことにより、意欲を持って沖縄の特色について考えることができた。

12．成果と課題

活字離れが問題となっている今の児童にとって、新聞を身近なものとして感じ、触れることができるこれらの取り組みは、十分意義があるものと考える。また、普段目にすることのない新聞記事を使った授業は、児童の知的好奇心を刺激し、学習内容への興味・関心を高めることができた。さらには、新聞を資料として活用する授業展開は、資料活用能力や思考力・判断力を高める有効な手立てとなった。

今回の授業では、沖縄と北海道の生活を比較するため、沖縄のＮＩＥ実践校から新聞を提供していただいた。この取り組みは5年生のみのものであったが、全校的なものになっていけば、新聞を通して他の都道府県